

西暦 2024 年 3 月 25 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	胎盤発育曲線の作成
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 市川 千宙 所属 病理診断科
研究対象者	1981～2023 年の 43 年間に大阪母子医療センターで分娩となった正常単胎出産の方
研究期間	研究実施許可後から 2025 年 3 月 31 日
研究目的・方法 (意義、目的、方法、 試料等の二次利用等)	胎盤は赤ちゃんとお母さんの間で水分、栄養、酸素、老廃物の交換に関わる臓器で、赤ちゃんの子宮の中で発育に深く関わっています。胎盤も胎児と共に大きさを増していきますが、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病などがあるとその重量が変化することが知られているので、重量の基準を設けることは大切です。そこで当センターでお産された単胎の方を対象に、胎盤重量の基準値とそのグラフを作成しようと思います。その際に男児と女児、初産婦と経産婦、分娩方法別で重量の差があるかどうか調べる。その際に下記の如く、必要な診療録の内容を参考にします。
研究に用いられる 試料・情報の項目 や種類	・ 診療録の内容 母:分娩様式(帝王切開ないし経膈分娩)、妊娠高血圧症候群、絨毛膜羊膜炎などの周産期異常症の合併の有無 児:性別、出生週数、胎児奇形の有無 ・ 胎盤: 胎盤重量、児の出生時体重
研究計画書などの研究 関連資料の入手方法、 または閲覧方法	本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の問合せ先までご連絡ください。
個人情報の開示に 係る手続き	本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
照会先および研究への 利用を拒否する場合の 連絡先	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 病理診断科 市川 千宙 電話 0725-56-1220 (代表)